

## アメリカ合衆国の核実験に抗議する決議

2019年5月、アメリカ合衆国が今年2月に臨界前核実験を行なったとの報道があった。今回の実験は、現トランプ政権での2017年12月に続く、2度目の核実験である。国連は2017年7月に核兵器禁止条約を採択し、条約批准に向けての努力が続いている。そうした中での核実験は、世界の流れに逆らい、核軍拡競争を助長するものだと考える。核兵器廃絶は、一部の国にのみ課せられたものでなく、世界のすべての国に課せられた課題である。

日本は、世界で唯一の戦争被爆国であり、さらに町田市は「非核平和都市」として「あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を、全世界に向かって訴えるものである」と宣誓していることから、この度のアメリカ合衆国の核実験を容認することはできない。

よって、町田市議会は、アメリカ合衆国に対して、連続する臨界前核実験の実施に抗議し、今後の核兵器の実験を中止することを求めるものである。

以上、決議する。